

# Briefing Transcription

|| 2025年11月期 第2四半期 決算説明文字起こし ||

## AHCグループ株式会社

7083 東証グロース サービス業

[企業情報はこちら >>>](#)

[紹介動画はこちら >>>](#)

2025年8月1日(金)



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

## ■ 目次

■ 決算説明を受けての FISCO アナリストコメント	01
■ 出演者	02
■ 決算説明	03

## ■ 決算説明会を受けての FISCO アナリストコメント

- ・ 2025年11月期第2四半期決算は、主力の福祉事業に加えて外食事業がけん引する形で増収、一方で営業利益は前年同期比69.1%減。ただし、営業利益の減益は、福祉事業における計画通りの3事業所開設が当初より予想に織り込まれており、予想比では上方修正での着地（16百万円→22百万円）。通期予想でも営業利益は前期比34.4%増の172百万円。
- ・ 資本業務提携により、福祉の業界に活用の遅れているeラーニングでの学びの場、生成AIを活用した業務効率化などをグループ内にジョイント、新たな成長ストーリーも付加されている。
- ・ 介護や障がい者支援をてがける類似企業と比較した場合、コロナ禍による収益悪化の影響もあり、今期予想を含めた同社の収益性、成長性の数値に特段目立った数値はない。ただ、障がい者支援が成長軌道に乗りつつある現状において、類似企業と比較して規模感の小さい同社の成長性は今後、極めて大きくなるのが想像に難くない。中期業績計画を達成した時点で利益成長率+20%・PER20倍で評価された場合の株価は2,000円強が意識されることになる。

## ■ 出演者

AHCグループ株式会社  
取締役副社長

土山 茂太様

## ■ 決算説明

2025年7月30日



2025年11月期 第2四半期  
決算説明資料

AHCグループ株式会社  
証券コード：7083



### ■ AHCグループ 土山様

皆様、ご視聴ありがとうございます。

AHCグループ株式会社 取締役副社長 土山茂太でございます。

2025年11月期第2四半期決算の内容について、ご説明させていただきます。

#### 目次

2

1	2025年11月期 第2四半期実績	3P
2	2025年11月期 通期業績予想	14P
3	2025年11月期 主要取組事項	20P
4	補足資料（会社・事業概要）	25P



2025 AHC GROUP INC.

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

1. 2025年11月期 第2四半期実績 | 連結決算概要 (前年同期比) | 3

- 既存事業所・前期開設事業所の売上が伸びたほか、パパゲーノを子会社化したことにより、売上高は前年同期比161百万円増の3,258百万円となったものの、新規事業所の開設費用などにより営業利益は前年同期比50百万円減の22百万円、経常利益は助成金の減少などにより前年同期比59百万円減の38百万円となった

(単位: 百万円)

	2024年11月期 第2四半期累計実績 (2023/12~2024/05)		2025年11月期 第2四半期累計実績 (2024/12~2025/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,096	100.0%	3,258	100.0%	161	5.2%
売上原価	2,769	89.4%	2,929	89.9%	159	5.8%
売上総利益	327	10.6%	328	10.1%	1	0.4%
販売費及び一般管理費	254	8.2%	306	9.4%	51	20.2%
営業利益	72	2.3%	22	0.7%	△50	△69.1%
経常利益	97	3.2%	38	1.2%	△59	△60.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	52	1.7%	14	0.4%	△38	△73.4%

※2025年11月期より表示方法の変更を行ったため、前年度においても当該変更を反映させるための勘合を行っております。



2025 AHC GROUP INC.

はじめに連結決算概要についてご説明いたします。

前年同期との対比につきましては、既存事業所及び前期開設事業所の売上が伸びたことに加え、2024年12月に完全子会社化したパパゲーノも加わり、売上高は32億5千8百万円と、前年同期30億9千6百万円に対し、1億6千百万円増加いたしました。

売上原価は29億2千9百万円と、前年同期27億6千9百万円に対し、1億5千9百万円増加、販売費及び一般管理費は3億6百万円と、前年同期2億5千4百万円に対し、5千百万円増加いたしました。

これらを受けまして、営業利益は2千2百万円、経常利益は3千8百万円となりました。

1. 2025年11月期 第2四半期実績 | 連結決算概要 (予想比) | 4

- 売上高・営業利益は介護事業では未達となったものの、福祉・外食事業では予想を達成した
- 経常利益は物価高騰に対する助成金などがあり、予想を上回った

(単位: 百万円)

	2025年11月期 第2四半期累計 予想 (2024/12~2025/05)		2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12~2025/05)		予想比 増減額	予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,195	100.0%	3,258	100.0%	62	2.0%
営業利益	16	0.5%	22	0.7%	6	39.3%
経常利益	13	0.4%	38	1.2%	25	197.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失	△2	△0.1%	14	0.4%	16	-



2025 AHC GROUP INC.

次に業績予想との対比についてご説明いたします。

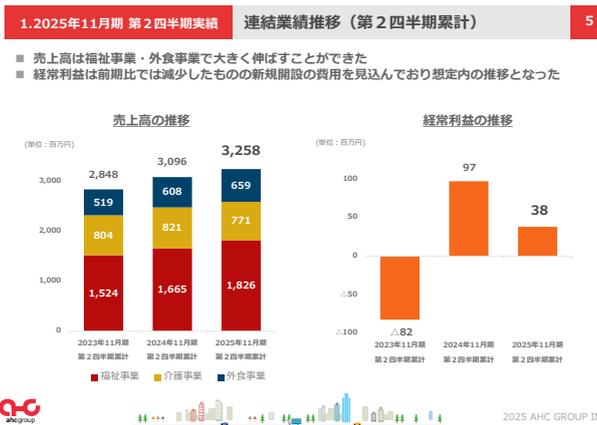
売上高は介護事業では未達となったものの、福祉事業・外食事業で予想を達成し、全体では予想に対し、プラス6千2百万円となりました。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

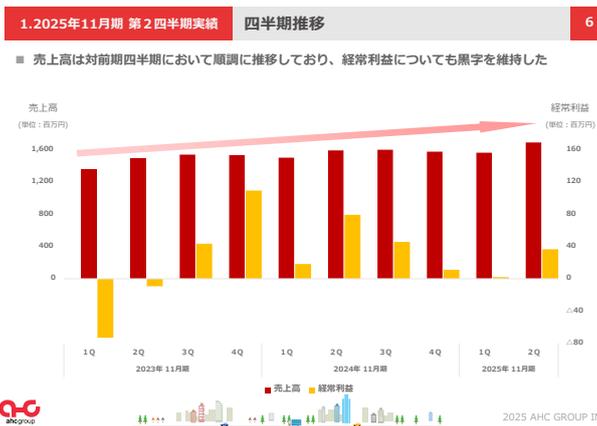
営業利益は物価の高騰により販売費及び一般管理費が増加したものの、予想に対し、プラス6百万円となりました。

経常利益は想定以上に助成金などの入金があり、予想に対し、プラス2千5百万円となり、四半期純利益についても、予想に対し、プラス1千6百万円となりました。



連結業績推移につきましては、福祉事業・外食事業で大きく売上高を伸ばすことができました。

経常利益につきましては、新規事業所開設の費用を計上したことにより、前年同期比では減少したものの想定内の推移となりました。



四半期推移としましては、対前年同四半期において順調に推移しております。また、経常利益につきましても黒字を確保いたしました。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

1.2025年11月期 第2四半期末実績 売上原価・販売費及び一般管理費 7

■ 売上原価は物価の高騰による外食食材費の上昇、新規開設費用などにより159百万円(0.5ポイント)増加、販売費及び一般管理費は人件費など51百万円(1.2ポイント)の増加となった

(単位:百万円)

	2024年11月期 第2四半期末実績 (2023/12~2024/05)		2025年11月期 第2四半期末実績 (2024/12~2025/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,096	100.0%	3,258	100.0%	161	5.2%
売上原価	2,769	89.4%	2,929	89.9%	159	5.8%
(人件費)	1,332	43.0%	1,379	42.3%	46	3.5%
(原価外食食材費)	303	9.8%	373	11.5%	69	23.0%
(地代家賃)	286	9.2%	292	9.0%	6	2.3%
(その他)	847	27.4%	883	27.1%	36	4.3%
販売費及び一般管理費	254	8.2%	306	9.4%	51	20.2%
(人件費)	44	1.4%	49	1.5%	5	11.4%
(のれん償却)	16	0.5%	24	0.7%	7	46.5%
(その他)	193	6.3%	232	7.1%	38	20.0%
営業利益	72	2.3%	22	0.7%	△50	△69.1%

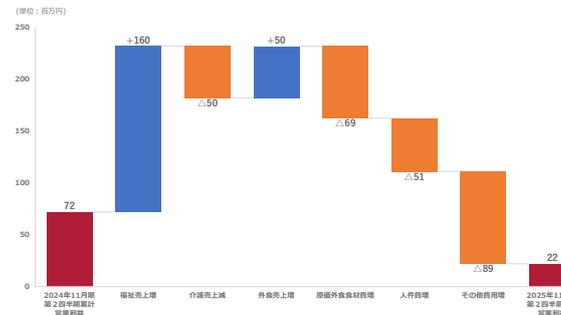


次に売上原価・販売費及び一般管理費についてご説明いたします。

売上原価は新規事業所開設に係る費用のほか、物価の高騰などによる食材費をはじめとした費用の増加により、前年同期と比べ1億5千9百万円増加いたしました。

販売費及び一般管理費は人件費や、パパゲーノを子会社化したことによるのれん償却額の増加などにより、前年同期と比べ5千百万円増加いたしました。

1.2025年11月期 第2四半期末実績 営業利益の増減要因 8



営業利益の増減要因はご覧の通りです。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

1.2025年11月期 第2四半期末実績 セグメント別売上・利益概要 9

- 福祉事業は前期開設事業所の順調な立ち上がり、子会社化したパバゲーノ、既存事業所の稼働が向上し、売上高は前年同期比・予想比ともに上回った
- 介護事業は閉鎖した事業所の影響により前年同期比・予想比ともに未達となった
- 外食事業は物価の高騰などにより前年同期比の営業利益には届かなかったものの、加工・物流事業で外部取引量が増加したため、売上高は前年同期比で増加し、予想も上回った

(単位:百万円)

	2024年11月期 第2四半期末実績 (2023/12~2024/05)	2025年11月期 第2四半期末実績 予想 (2024/12~2025/05)	2025年11月期 第2四半期末実績 (2024/12~2025/05)	前年同期比 増減額	予想比 増減額
	金額	金額	金額		
福祉事業	売上高 1,665	1,814	1,826	160	12
	営業利益 111	94	104	△6	10
介護事業	売上高 821	789	771	△50	△18
	営業利益 △3	△3	△24	△20	△20
外食事業	売上高 608	591	659	50	68
	営業利益 49	34	44	△4	10
調整額	売上高 -	-	0	0	0
	営業利益 △84	△108	△102	△18	5
計	売上高 3,096	3,195	3,258	161	62
	営業利益 72	16	22	△50	6

調整額: 各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去

2025 AHC GROUP INC.

次にセグメント別売上・利益の概要についてご説明いたします。

福祉事業では、前期開設した事業所が順調に立ち上がったことや、既存事業所の稼働が向上したこと、子会社化したパバゲーノの影響もあり、売上高は前年同期に対し、1億6千万円増の18億2千6百万円となりました。

営業利益は前年同期に対し減少いたしました。主に新規事業所にかかる費用によるもので予想に対しては1千万円増の1億4百万円となりました。

介護事業では、事業所を閉鎖、譲渡したことなどにより、売上高は前年同期に対し、5千万円減の7億7千万円となり、営業利益は前年同期に対し、2千万円減のマイナス2千4百万円となりました。

外食事業では、前期閉店した店舗の影響があるものの、客単価の向上に加え、加工・物流での取引量増加により、売上高は前年同期に対し、5千万円増の6億5千9百万円、営業利益は前年同期に対し減少いたしました。予想に対し、1千万円増の4千4百万円となりました。

1.2025年11月期 第2四半期末実績 事業所(拠点)の新規開設 10

2025年11月期 第2四半期末では計画通り3事業所の開設、M&Aにより1事業所増加

■ 福祉事業: 3事業所を開設

就労継続支援B型 1事業所  
・「パバゲーノ Work & Recovery 用賀」(3月)

生活介護 2事業所  
・「アプリケアワークス蘇我」(2月)  
・「アプリケアワークス上福岡駅西口」(5月)

■ 福祉事業: M&Aにより1事業所を取得

就労継続支援B型 1事業所  
・「パバゲーノ Work & Recovery 八幡山」(12月)

2025 AHC GROUP INC.

次に事業所開設状況についてご説明いたします。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

第2四半期末時点では福祉事業で、就労継続支援B型を1事業所、生活介護を2事業所新規開設いたしました。

また、M&Aにより就労継続支援B型を1事業所取得いたしました。

グループ全体では、福祉93事業所、介護33事業所、外食6店舗の合計132事業所となりました。

1. 2025年11月期 第2四半期実績 貸借対照表の増減要因 11

	2024年11月期末実績	2025年11月期 第2四半期末実績	(単位:百万円) 前期末 増減額	
流動資産	3,568	3,655	86	■ 流動資産の増減要因 ➢ 現金及び預金の増加(+16百万円) ➢ 売掛金の増加(+58百万円)
固定資産	2,229	2,318	88	■ 固定資産の増減要因 ➢ のれんの増加(+83百万円)
(有形固定資産)	1,239	1,246	7	■ 負債の増減要因 ➢ 借入金が増加(+117百万円) ➢ 買掛金の増加(+23百万円)
(無形固定資産)	303	387	83	■ 純資産の増減要因 ➢ 繰渡制限付株式報酬による新株の発行 (+26百万円)
(投資その他の資産)	686	684	△2	
総資産	5,798	5,973	175	
負債	4,593	4,749	156	
(流動負債)	1,251	1,410	158	
(固定負債)	3,341	3,339	△2	
純資産	1,204	1,224	19	



2025 AHC GROUP INC.

次に貸借対照表の増減についてご説明いたします。

流動資産は、売上高の増加などにより前期末より8千6百万円増加いたしました。

固定資産は、M&Aによるのれんの増加などにより前期末より8千8百万円増加いたしました。

負債につきましては、借入金が増加したことなどにより前期末より1億5千6百万円増加いたしました。

純資産につきましては、四半期純利益及び新株の発行のほか、配当金により、前期末より1千9百万円増加いたしました。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロス サービス業

決算説明

1.2025年11月期 第2四半期実績 キャッシュ・フローの状況 12

(単位:百万円)

	2024年11月期 第2四半期累計実績	2025年11月期 第2四半期累計実績
税金等調整前当期純利益	93	38
営業活動によるCF	184	39
有形固定資産の取得による支出	△68	△55
投資有価証券の取得による支出	△77	-
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	-	△87
投資活動によるCF	△139	△100
長期借入れによる収入	300	400
長期借入金の返済による支出	△241	△301
自己株式の取得による支出	△19	-
配当金の支払額	-	△20
財務活動によるCF	38	76
現金及び現金同等物の増減額	84	16
現金及び現金同等物の期首残高	2,047	2,419
現金及び現金同等物の期末残高	2,131	2,435



2025 AHC GROUP INC.

キャッシュ・フローの状況はご覧の通りです。

目次 13

- 1 2025年11月期 第2四半期実績 ..... 3P
- 2 2025年11月期 通期業績予想 ..... 14P
- 3 2025年11月期 主要取組事項 ..... 20P
- 4 補足資料(会社・事業概要) ..... 25P



2025 AHC GROUP INC.

次に2025年11月期通期業績予想について、ご説明させていただきます。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

2.2025年11月期 通期業績予想 連結業績予想 14

■ 新規開設費用や物価の高騰による売上原価・販管費の影響はあるものの、福祉事業・外食事業の売上高は好調に推移していることから業績予想は据え置きとした

(単位: 百万円)

	2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12~2025/05)	2025年11月期 予想 (2024/12~2025/11)	進捗率
	金額	金額	
売上高	3,258	6,622	49.2%
営業利益	22	172	13.0%
経常利益	38	163	23.7%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	14	110	12.7%



2025年11月期の見通しといたしましては、新規開設事業所にかかる費用や物価の高騰による影響はあるものの、福祉事業を中心に売上高が好調に推移していることから、通期の業績予想につきましては、当初の予想を据え置き、売上高は66億2千2百万円、営業利益は1億7千2百万円、経常利益は1億6千3百万円を想定しております。

2.2025年11月期 通期業績予想 連結業績予想 (推移) 15



連結業績予想の推移といたしましてもご覧のとおり、福祉事業の売上高が好調に推移するものと想定しております。

経常利益につきましても売上高と同様にプラスで推移するものと想定しております。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

2.2025年11月期 通期業績予想 セグメント別 売上・利益 予想 16

■ 概ね予想通りの推移をしており、福祉・外食事業を中心にすべての事業セグメントが利益に貢献するものと予想

(単位: 百万円)

		2025年11月期 第2四半期累計実績 (2024/12~2025/05)	2025年11月期 予想 (2024/12~2025/11)	進捗率
		金額	金額	
福祉事業	売上高	1,826	3,809	48.0%
	営業利益	104	284	36.8%
介護事業	売上高	771	1,626	47.4%
	営業利益	△24	39	-
外食事業	売上高	659	1,185	55.7%
	営業利益	44	64	69.6%
調整額	売上高	0	-	-
	営業利益	△102	△216	-
計	売上高	3,258	6,622	49.2%
	営業利益	22	172	13.0%

調整額: 各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2025 AHC GROUP INC.

次に、セグメント別売上・利益予想についてご説明いたします。

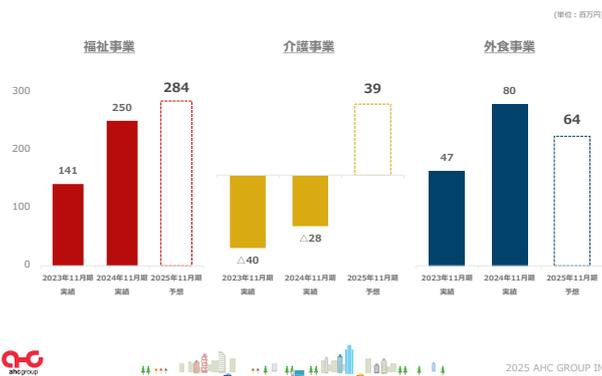
福祉事業は、前期開設事業所及び既存事業所が好調に推移するものと想定しております。

介護事業は、既存事業所が回復していくことを想定しております。

外食事業は、上期に続き、加工・物流での取引量が増加するものと想定しております。

これらの想定を踏まえ、福祉事業の売上高は38億9百万円、営業利益は2億8千4百万円、介護事業の売上高は16億2千6百万円、営業利益は3千9百万円、外食事業の売上高は11億8千5百万円、営業利益は6千4百万円を想定しております。

2.2025年11月期 通期業績予想 セグメント別 利益推移 (営業利益) 17



セグメント別の営業利益推移はご覧の通りです。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

2.2025年11月期 通期業績予想 事業所（拠点）開設計画 18

2025年11月期は合計7事業所の開設計画へ変更

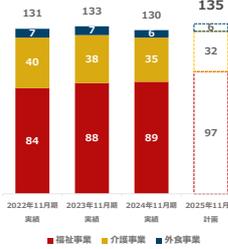
当初計画：就労継続支援B型2、生活介護2、グループホーム1、児童発達支援1  
修正計画：就労継続支援B型1、生活介護3、グループホーム2、児童発達支援1

事業所数の推移

■福祉事業：7事業所の開設計画

- 就労継続支援B型 1事業所
  - 「ハバケーン Work & Recovery 用賀」開設済
- 生活介護 3事業所
  - 「アプリケアワークス藤森」開設済
  - 「アプリケアワークス上福岡駅西口」開設済
  - 「アプリケアワークス龜山」開設済(6月)
- 共同生活援助（グループホーム） 2事業所
  - 「ビートル桑名大山田」
  - 「ビートル藤沢本町2号館」
- 児童発達支援 1事業所
  - 「アプリキッズ四日市小古曾」

※介護事業：1事業所増設、1事業所 事業譲渡



2025 AHC GROUP INC.

続きまして、事業所開設計画につきましては、福祉事業で、生活介護1事業所、グループホーム2事業所、児童発達支援1事業所を予定しております。

通期では当初の計画より1事業所増の合計7事業所とし、積極的に新規開設を進めてまいります。

目次

19

- 1 2025年11月期 第2四半期実績 ..... 3P
- 2 2025年11月期 通期業績予想 ..... 14P
- 3 2025年11月期 主要取組事項 ..... 20P
- 4 補足資料（会社・事業概要） ..... 25P



2025 AHC GROUP INC.

次に2025年11月期の主要な取組みの進捗についてご説明させていただきます。

決算説明

3. 主要取組事項

事業の拡大

20

■ 事業所の新規開設

就労継続支援B型 1事業所、生活介護 3事業所を開設済

就労継続支援B型	生活介護
<p>パパゲノ Work &amp; Recovery 専用 ワーク＆リカバリー 2023年3月 オープン</p> <p>パパゲノ社の生産活動におけるITの高い専門性と、当社が培ってきた福祉事業の運営ノウハウを掛け合わせ、新たなニーズに対応できる体制を構築</p> <p>一般的な就労継続支援B型事業所は1年半～2年の立ち上がり期間を要するのに対し、パパゲノ Work&amp;Recovery専用では1年以内の立ち上がりを見込む</p>	<p>アプリ 2025年3月 オープン 2025年5月 オープン 2025年6月 オープン</p> <p>ご利用者様の日中活動の選択肢を拡充するため、ドミナントエリア内に生活介護事業所を開設</p> <p>また、日中活動と住まい（グループホーム）の両面からサポートする体制を強化し、エリア全体のサービス価値と収益性の向上を推進</p>

▶ 今後、共同生活援助（グループホーム）を2事業所（9月・10月）  
未就学児を対象とした児童発達支援事業所（10月）を開設予定



2025 AHC GROUP INC.

今期はこれまでに就労継続支援 B 型を 1 事業所、生活介護を 3 事業所、新規に開設いたしました。

就労継続支援 B 型事業所につきましては、子会社パパゲノが持つ IT に長けた生産活動と、当社が培ってきた事業運営ノウハウを掛け合わせ、新たなニーズに対応可能な事業所となっております。

一般的に就労継続支援 B 型の事業所は、立ち上がりに 1 年半から 2 年を要するところ、1 年以内での立ち上がりを見込んでおります。

生活介護事業所につきましては、ご利用者様の日中活動の選択肢を拡げるため、ドミナントエリアで新規事業所の開設をいたしました。

これにより日中活動の生活介護事業所、住まいのグループホーム、これら両面からサポートできることとなり、エリア全体のサービス価値向上を図っております。

下期につきましては、グループホームを 2 事業所開設するとともに、未就学児を対象とした事業所である児童発達支援事業所も開設し、障害のある方がワンストップで寄り添える事業展開をより強固なものとしてまいります。

決算説明

3.主要取組事項

事業の拡大

21

■ AI支援記録アプリ「AI支援さん」の販路開拓・拡大

製品価値の向上

販路開拓・拡大

当社グループ導入

当社グループでの導入を通じ、支援現場スタッフの声を反映  
ITに不慣れなスタッフでも「直感的」に使用できるサービスへアップデート

外部での導入拡大

SNSでの製品紹介やオンライン説明会の開催を通じて、外部での導入が拡大  
支援現場スタッフの業務オペレーションを大きく変えずに導入できる手軽さが外部への販路拡大を後押し

時期	導入事例数
24/11	1
25/02	3
25/05	7
25/07	19

■ AI支援さんとは

AIで簡単に支援記録を残せるアプリ  
面談記録等の文字起こしや要約、支援記録から必要な書類をAIが自動生成

初期設定  
利用登録  
要約

支援記録  
テキストデータ

アップロード  
録音データ

AI支援さん

文字起こし  
要約

支援記録の作成  
書類作成

2025 AHC GROUP INC.

次に、子会社パバゲーノのAI支援記録アプリ「AI支援さん」につきまして、ご説明いたします。

「AI支援さん」はAIを用いて、これまでと比べ簡単に支援記録を作成できるアプリケーションです。

面談記録などの文字起こしとその要約をはじめ、支援記録から必要な書類を自動生成できるものとなっております。

今期はこれまでに、当社グループで順次導入を進め、現場スタッフの声を収集し、ITに不慣れなスタッフでも直感的に使用できるようアップデートを実施いたしました。

また、AIが各自治体の様式に合わせて、書類を作成する機能も追加いたしました。

さらに、SNSでの製品紹介やオンラインでの説明会を積極的に開催いたしました。

現場スタッフの業務オペレーションを大きく変えずに導入できる手軽さもあり、外部への販売を順調に伸ばしております。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

3.主要取組事項

DXの推進

22

■ ITとAIを活用し業務の効率化・改革を推進

ITを活用した業務効率化	AI活用の推進
<p><b>課題</b> 多拠点・多事業を展開する中で、本社→現場間の連携に重複作業が発生し、非効率な業務プロセスが存在</p> <p><b>取組</b> アナログ作業となっている売掛管理をITを活用し自動化、重複作業を解決に向けて着手</p>	<p><b>課題</b> 現場では自治体ごとに異なる様式の資料をアナログで作成・重複する問い合わせ対応</p> <p><b>取組</b> 現場で「AI支援さん」を導入し、従業員の業務負担を軽減 ご利用者様向けの問い合わせに対応したAIチャットボットを設置</p>
<p><b>今後の展望</b></p> <p>蓄積された社内データを有効活用できる環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社内のデータベースを統合・管理</li> <li>業務オペレーションの自動化・効率化</li> <li>従業員の生産性向上・業務負担の軽減</li> </ul>	

2025 AHC GROUP INC.

続いて IT と AI を活用した業務の効率化・改革について、ご説明いたします。

多拠点・多事業を展開する中で、本社と現場間の連携に重複作業が発生し、非効率な業務プロセスが存在しておりましたが、アナログ作業となっている売掛管理に IT を活用し、自動化するなど、重複作業の解消に向けて着手いたしました。

また、現場では自治体ごとに異なる様式の資料を作成しておりましたが、「AI 支援さん」を導入し、従業員の業務負担を軽減いたしました。

さらに、ご利用者様向けの問い合わせに対応した AI チャットボットを設置いたしました。

今後の展望といたしましては、蓄積された社内データを有効活用できる環境を構築すべく、データベースの統合と管理、業務オペレーションの自動化・効率化、従業員の生産性向上・業務負担の軽減を推進してまいります。

3.主要取組事項

資本業務提携の進捗

23

■ 株式会社manaby・株式会社パパゲーノとの業務提携の進捗

manaby	Papageno
<p>2024年5月 資本業務提携契約締結 株式保有比率 3.18%</p> <p>2024年8月 「TODAY吉祥寺」を「manaby吉祥寺 吉祥寺」にリニューアルオープン</p> <p>2025年6月 株式の追加取得 株式保有比率 6.37%</p>	<p>2024年5月 資本業務提携契約締結 株式保有比率 10.9%</p> <p>2024年12月 株式の100%取得（完全子会社化） 当社事業所でAI支援さんの導入</p> <p>2025年3月 「パパゲーノWork&amp;Recovery用耳」 をオープン</p>
<p><b>今後の展望</b></p> <p>ITを駆使し、障害者の就労機会・雇用の構造改革を進め、社会課題を解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>manaby型・パパゲーノ型の就労支援事業を確立し、就労に必要な知識・スキルを習得できる場を提供</li> <li>AIを活用して障害者も活躍できる環境を構築</li> <li>障害者雇用を創出するパッケージを開発</li> </ul>	

2025 AHC GROUP INC.

最後に、株式会社 manaby ・ 株式会社パパゲーノとの業務提携の進捗について、ご説明いたします。

AHCグループ株式会社 | 2025年8月1日(金)  
7083 東証グロース サービス業

決算説明

株式会社 manaby とは 2024 年 5 月に資本業務提携を行い、発行済株式の 3.18% を取得いたしました。その後、2024 年 8 月には当社の TODAY 吉祥寺を Manaby 吉祥寺へとリニューアルオープンいたしました。2025 年 6 月には関係強化を目的として株式の追加取得を実施し、保有比率は 6.37% となっております。

株式会社パパゲーノとは 2024 年 5 月に資本業務提携を行い、発行済株式の 10.9% を取得いたしました。その後、2024 年 12 月には株式の全てを取得し 100% 子会社化いたしました。また、当社事業所で AI 支援さんの導入を開始いたしました。2025 年 3 月には新規事業所としてパパゲーノ Work&Recovery 用賀を開設いたしました。

今後につきましては、IT を駆使し、障害のある方の就労機会・雇用の構造改革を進め、社会課題を解決するため manaby 型・パパゲーノ型の就労支援業態を確立し、就労に必要な知識・スキルを習得できる場の提供や、AI を活用した障害のある方も活躍できる環境の構築、障害者雇用を創出するパッケージの開発を推進してまいります。

4. 補足資料

企業理念

36



2025 AHC GROUP INC.

以上、2025 年 11 月期第 2 四半期 決算説明とさせていただきます。

ご視聴いただき、ありがとうございました。

#### 重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

#### ■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp